

ウトロで終わらないウトロの話

差別・ヘイトクライムを許さない、共に暮らす平和なまちをつくるために

京都府宇治市ウトロをご存じですか？

立ち退き裁判における闘いから誕生した
「ウトロ平和祈念館」の金秀煥副館長を
お招きしてお話を伺います。



今年4月30日に開館したウトロ平和祈念館

京都ウトロ放火事件の被告人は、2021年7月から8月にかけて在日朝鮮人という特定の出自を持つ人々に対する偏見や嫌悪感から事件を起こしました。2022年8月30日、京都地裁は懲役4年の判決を言い渡しました。

「在日韓国朝鮮人という特定の出自をもつ人々に対する
偏見や嫌悪感に基づく、独善的かつ身勝手な犯行」

——増田啓祐裁判長

ウトロは日本社会から「置き去りにされた」朝鮮人の町でした。ここには、様々な困難に直面しながらも声を上げ続けた人々とウトロに寄り添ってきた日本・在日・韓国の市民が協力して人々の尊厳と生活を守ってきた歴史があります。そしてこの歴史には、よりよい社会、あたらしい未来へのヒントがあります。

くにたち人権月間企画 ▶ ▶ ▶

日時：

2022年12月11日（日）
17時～20時（16時半開場）

場所：

くにたち市民芸術小ホール

講師：

キム・スファン
金秀煥氏（ウトロ平和祈念館副館長・
一般財団法人ウトロ民間基金財団理事）
師岡康子氏
（弁護士・外国人 인권 連絡会事務局長）
永見理夫国立市長ほか
※参加費無料。定員200名。



企画：ウトロで終わらないウトロの話実行委員会

042-575-1502（瀧柳）
k_inomata203@yahoo.co.jp

国立市役所 政策経営部 市長室
平和・人権・ダイバーシティ推進係
TEL 042-576-2111（内線 229・256）（平日のみ）
FAX 042-576-0264

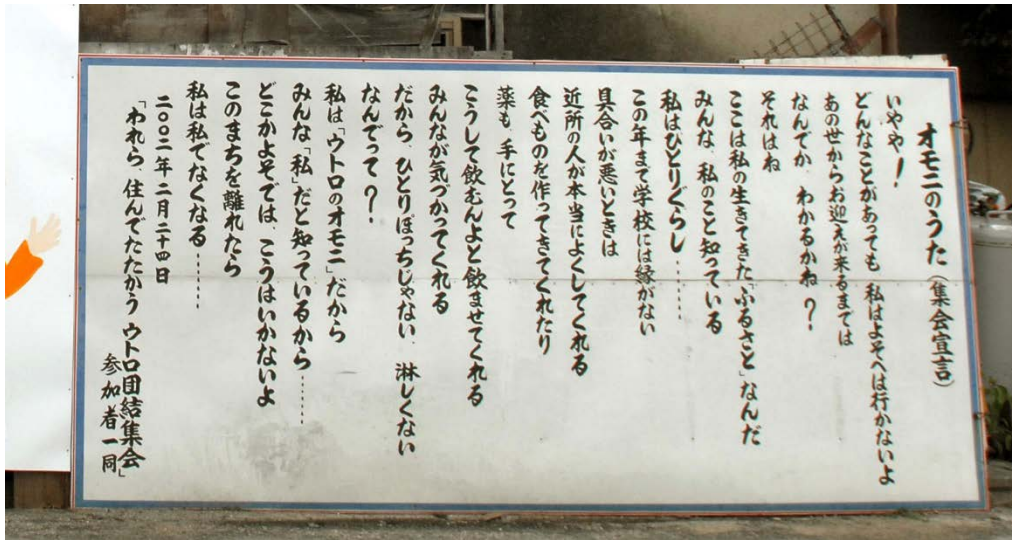
sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

※手話通訳付き

お申込みは11/22（火）～12/9（金）17時まで
にご氏名・ご連絡先をご連絡ください。

京都ウトロについて考えよう

京都府宇治市伊勢田町ウトロ 51 番地。この地区は 1940 年から日本政府が推進した「京都飛行場建設」に集められた朝鮮人労働者たちの飯場跡に形成された集落です。日本の敗戦により工事が中断されると、朝鮮人労働者たちとその家族はその場に使い捨てのように放置されてきました。2021 年、日本国内外に衝撃を与えた京都ウトロ放火事件。ウトロで起こったこのヘイトクライムを通して、国立市が「人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり」にどのように繋げていけばよいのか考える機会にしたいと思っています。



ウトロの家屋前に置かれた看板より「オモニのうた」

プログラム

プロローグ オモニ コーラスグループによる歌

第一部 講演会

テーマ：「ウトロに生きる ウトロで出会う」
～ウトロ平和祈念館副館長金秀煥さんから学ぶ～
講師： 金秀煥さん（ウトロ平和祈念館副館長・
一般財団法人ウトロ民間基金財団理事）

第二部 問題提議

テーマ：「ウトロ放火事件裁判を通して見えてきた
ヘイトクライムの解決に向けて」
講師： 師岡康子さん（弁護士・外国人権法
連絡会事務局長）

第三部 シンポジウム

テーマ：「人権を尊重し多様性を認め合う
平和なまちづくり基本条例を掲げる
国立市としてできること」

進行： 師岡康子さん

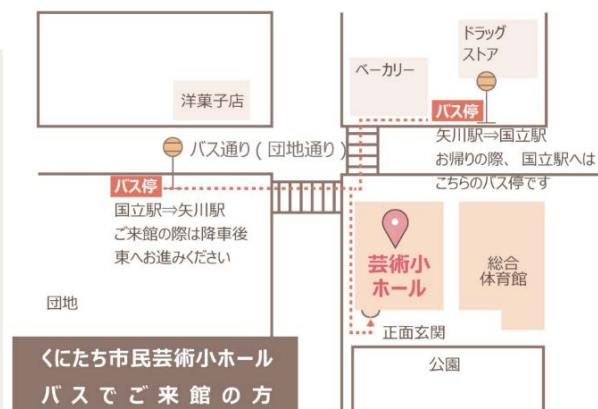
パネラー： 金秀煥さん

国立市長 永見理夫さん

リョ・ソンヒ
呂成姫さん（国立市人権・平和のまちづくり
審議会委員）



ウトロ地区にあった「立て看板の家」



バスでお越しの方：立川バス「矢川駅」行、「国立操車場」行、「国立泉団地」行 JR 国立駅 南口ロータリー4 番のりば
「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車

電車でお越しの方：JR 南武線の矢川駅または谷保駅から約 850m（徒歩約 10 分）